

第 15 回大磯ロングビーチ ファミリートライアスロン(2020)

TO オペレーションマニュアル 【トランジション】

第 1.2 版

作 成 者	浅野拓哉
作 成 日	2020 年 8 月 26 日
最終更新日	2020 年 9 月 7 日

目次

2020 大磯ロングビーチファミリートライアスロン	1
目次	2
体制	3
1. TO・ボランティア一覧	3
会場・コース	4
1. スタッフ配置図	4
業務詳細・留意事項	4
1. 共通事項	4
2. 業務別詳細および留意点	5
3. 救護を要する選手の対応	6
4. 制限時刻対応	6

■略語一覧

TO	テクニカル・オフィシャル(審判員)
TA	トランジションエリア

体制

1. TO・ボランティア一覧

TO 一覧および担当エリア

名前	ポジション	担当・役割	備考
浅野拓哉	チーフ	チェックインアウト誘導、全体監視、選手情報管理	無線、090-4414-6160
花井 哲	サブチーフ	チェックインアウト誘導、最終選手出入確認、情報管理	無線
八下田 千恵子	チェックイン	チェックイン、チェックアウト、 TA 内巡回	7:15 チェックイン後、TA オープン5回
澁谷 実	チェックイン	チェックイン、チェックアウト、 TA 内巡回、リレーエリア対応	7:15 チェックイン後、TA オープン5回
岡田 展生	バイク乗降車	キッズセッティング→乗降車	11:10～11:35 ちびっ子
村山 義人	バイク乗降車	キッズセッティング→乗降車	11:10～11:35 ちびっ子
旭 正光	スイム側導線	一般セッティング→スイム側	11:10～11:35 ちびっ子
榊 幸喜	スイム側導線	一般セッティング→スイム側	11:10～11:35 ちびっ子

ボランティア一覧および担当エリア

ポイント名	人数	担当・役割	指揮担当 TO
---	0	---	---

会場・コース

1. スタッフ配置図

別途のホームページ公開資料「トランジション レイアウト図」等を参照し、配置を確認。

業務詳細・留意事項

1. 共通事項

■設営

- ・トランジションエリア設営、バイクラック配置(今一度、選手導線を考慮しながら位置を決定)
- ・乗降車ラインを確定(看板配置を確認)
- ・リレーゾーン(親子)を設置(トランジションの外(西側)に隣接したエリアを確定する)
- ・チェックインピックアップ時および競技時の接触を防ぐため、ラン・バイク双方の入口/出口を明確に分離する。

■基本事項

- ・トランジションエリア内のバイク乗車禁止
- ・ピックアップ時のレースナンバーの確認

■情報管理

- ・DNSの確認
- ・リタイア者とポジション(スイム、バイク)の確認
- ・各カテゴリの先頭と最終スタート者(バイク、ラン)の確認と報告

■COVID-19 対策

- ・マスクを常に着用する。またチェックイン時など選手との会話が発生する業務は、加えてフェイスガードを併用する。
- ・選手の身体および持ち物へ直接素手で触れない。
- ・万が一接触した場合は、選手へアルコール消毒シートをお渡し消毒を促すとともに、自身もアルコール消毒シートで消毒する。
- ・消毒シート用ゴミ袋は、常時閉じた状態とし捨てるタイミングのみ開け、選手からは直接捨ててもらう。手ではゴミは受け取らない。
- ・その他各選手のゴミは原則各自で持ち帰ってもらう。
- ・ゴミを拾う際は素手ででは拾わずトングあるいは手袋を利用する。
- ・手隙の時間帯は、気がついた範囲で設備のアルコール消毒(アルコール消毒シート・スプレー)を行う。
- ・TAの外側で保護者に夜応援やチェックイン指示を行っている場合、大声・密集を避ける様指導する。

2. 業務別詳細および留意点

■早朝チェックイン前

- ・選手・TOなどが触れる場所全てを手分けしてアルコールで消毒する。

■チェックイン、ピックアップ（担当者：チェックイン）

- ・TAオープン時間帯は全員フェーズガードも着用する。
- ・早朝チェックインはレースナンバーで時間帯を区切り密を防止する。
- ・チェックイン検査を待つ際、ソーシャルディスタンスを保ち1列に整列してもらう。
- ・最終ピックアップは、TA内の選手人数が50人以下程度となる様、入場を制限する。
- ・TA入場口で、選手であることをレースナンバーで確認する。
保護者のTA入場は混雑防止のため原則不可とする。
- ・TA入場の際に、選手の手にアルコールを散布し消毒してもらう。
- ・チェックイン検査は二人一組で、手際よく行う。（すべて目視確認、必要に応じて選手に指示）

検査項目 (1)レースナンバー

(2)ヘルメット(No ステッカー付き)のストラップ装着状態(緩みがないことを確認)

(3)車検

- ① ハンドル、ブレーキ選手に操作を指示し確認
- ② ホイール、ボトル固定状況目視
- ③ 不要装備の取り外し指示(ベル、反射板、スタンド等)※キッズ除く
工具の貸し出し等対応はなし。指摘指示のみとする。

(4)マスクの着用

- ・ペットボトルの使用不可(ペットボトル専用ゲージでの固定し蓋なしでの使用は可)。
- ・TAオープン(チェックイン以外に5回TAをオープン)。

◆トランジションオープン時間

- ・第1回 7:15～8:20 (集中した場合TA内選手人数が80名以下になる様入場を制限する)
- ・第2回 9:05～9:20(制限なし)
- ・第3回 10:05～10:20 (制限なし)
- ・第4回 10:50～11:20 (制限なし)
- ・第5回 12:10～13:00(TA内選手人数が80名以下になる様入場を制限する)
- ・ピックアップはレースナンバーを必ず確認すること。
レースナンバーが一致しない場合は、バイクをTAから出せないことを説得する。

■セッティング（担当者：バイク乗降車、スイム側導線）

- ・バイクをラックへかける向きに注意する。
小学生のバイクを直接にラックへかけることが困難な場合は、補助用に紐で輪をつくり、バイクラックとバイクのサドルの間にセットする。(補助する際は、手袋着用しアルコールシート活用)
- ・ヘルメットストラップを外して配置されているかを確認。
- ・ラックへのマーキング禁止
- ・セッティング完了後、選手へスイム会場への誘導、忘れものがないかの声かけを行う。

■ バイク乗降車ライン（担当：バイク乗降車）

- ・乗車 「選手の片足が乗車ラインを越えた後に、完全に片足が地面についてから乗車」していることを確認。
※乗車時にふらついて転びそうな選手に注意。ラインを越えてから余裕をもって乗車してもらう。
- ・降車 「降車ライン手前の地面に、片足が完全にについてから降車」していることを確認。

■ 誘導（担当：スイム側誘導）

- ・設営した柵などが、選手の安全な競技の遂行ができるように、調整を行う。
※他の選手との交錯などが生じないように対応する。
- ・スイムフィニッシュした選手の導線を確保する。周囲に声かけ等を行う。
- ・ランスタートする選手との交錯が生じないよう導線を確保すること、周囲に声かけを実施のこと。
- ・リレーの待機選手が TA 内をうろつかない様に誘導する。（接触事故防止）
- ・リレー対応（親子リレー）
※対応者はマスクの他に必ずフェースガードも着用する。
※バイク→ランのアンクルバンドの引き継ぎの確認

■ ちびっ子ファミリー（担当者：バイク乗降車、スイム側導線）

- ・選手が乗り物を下車し乗り捨てた地点で乗り物を脇に置き、通路を確保。

■ ボランティア対応 …無し。

3. 救護を要する選手の対応

■ 競技運営マニュアルに準じる

- ※安易に救護者への接触は控える。

4. 制限時刻対応

- 最後尾付近の選手で、審判長が適宜判断する。（基本的にはできるだけ完走してもらう）